

令和7年度東部地区学力向上推進協議会 (研究発表会)



令和8年1月23(金) オンライン開催

令和8年1月23日(金)に、東部地区学力向上推進協議会(研究発表会)を、東部管内全小・中・義務教育学校の研究推進担当者、各市町教育委員会学力向上推進担当指導主事等を対象として開催しました。本発表会においては、東部地区の児童生徒の学力向上を目的とし、「児童生徒の学力向上に向けた取組」「教員の指導力向上を通じた学力向上に向けた取組」について、実践発表を7つの教育委員会と8つの研究校に実践発表をしていただきました。また、東部教育事務所の事業「学力向上総合プロジェクト」の紹介、吉川市教育委員会から「学力向上に係る効果的な取組事例」の紹介をいただきました。その後、義務教育指導課指導主事による指導・講評も行い、それぞれの研究成果をはじめとする学力向上に係る効果的な取組について、東部管内の全小・中・義務教育学校に情報発信いたしました。

「児童生徒の学力向上に向けた取組」

※市町名、学校名、地区名は明記していません。

【実践発表】

● A教育委員会 ● A小学校

(1) 研究主題

子どもの学力向上と教師の働き方改革の両立を図る授業改善

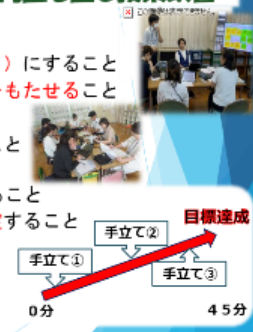
(2) 発表内容(抜粋)

- ① 主題設定の理由
 - ・ 学力と学欲を高める必要性
 - ・ 持続可能な研究の必要性
- ② 研究の視点と手立て
 - ・ 選択と共有の場の設定
 - ・ 意図的な机間指導
 - ・ リアクションとフィードバックの強化
 - ・ 県学調等のデータ分析

研究の視点1 子どもの学力や学欲向上を図る授業改善

【研究から分かってきた有効な手立て】

- 本時の課題(めあて)を疑問形(5W1H)にすること
- 課題に対する予想を行い、学習の見通しをもたせること
- 板書を構造化すること
- 一問複数答の発問、補助発問を工夫すること
- 学習のまとめに向かう話し合いを重視し、
子どもの言葉でまとめたものを価値付けること
- 本時の学習活動の中に、選択と共有を設定すること



(3) 研究の成果（抜粋）

【成果】

- ・学力を伸ばした学年の児童の割合の向上
- ・アンケート結果による学欲の向上
- ・3校の再編成を生かすことにより、学力と学欲の向上
- ・授業改善と働き方改革の両立により持続可能な研究の確立

【実践発表】

●B教育委員会

●B小学校

(1) 研究主題

主体的・対話的で深い学びを実現する児童の育成
～一人一人の確かな学力の定着を目指す授業づくりを通して～

(2) 発表内容（抜粋）

① 主体的な学びの視点

- ・既習事項の確認と基礎的な学習
- ・振り返り（4つの視点）
- ・課題を見出し、見通しをもった学習スタイル
- ・相手意識、目的意識をもたせた言語活動の設定

② 対話的で深い学びの視点

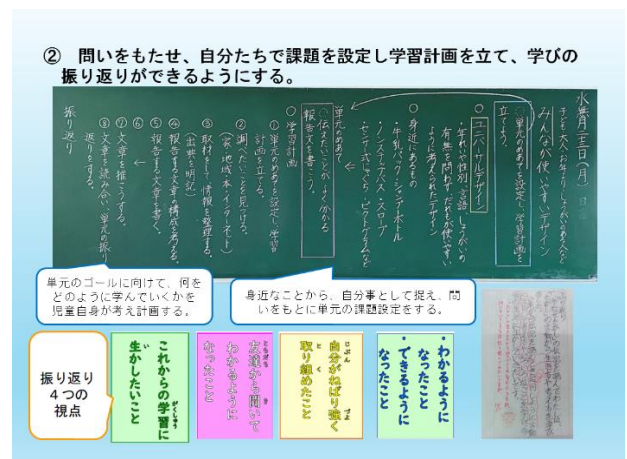
- ・3人1組を基本とした交流
- ・ICTを活用した思考の可視化
- ・学び方の自己選択

③ カリキュラム・マネジメント

- ・総合的な学習の時間と教科の系統性

④ その他

- ・校内授業研究会
- ・研究推進校視察



(3) 研究の成果と課題（抜粋）

【成果】

- ・各種調査の分析から手立を考え、実践することができた。
- ・本気・全力で学ぶ姿勢を高めることができた。
- ・教員の指導力向上を図ることができた。

【課題】

- ・手立ての有効性を検証し、新たな課題への方策の設定
- ・教科横断的な指導
- ・主体的・対話的で深い学びの授業改善と指導力の向上

【実践発表】

●C 教育委員会

●C 小学校

(1) 研究主題

「わかった」「できた」「つかえた」を実感できる子どもの姿を求めて
～よく聴き、よく考え、学びあう授業～

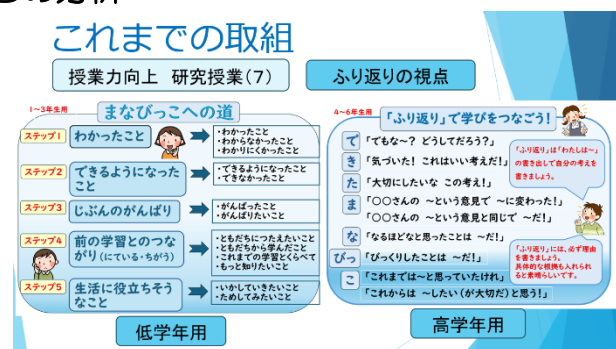
(2) 発表内容（抜粋）

① 本校の現状

- ・埼玉県学力・学習状況調査の結果からの分析

② これまでの取組

- ・「市教委スタンダード」の活用
- ・指導の重点（めあてとまとめ）
- ・基本的事項の確認
- ・座席の工夫
- ・授業の自由参観 学年研修
- ・チームティーチングの実践
- ・ふり返りの視点



(3) 研究の成果と課題（抜粋）

【成果】

- ・各種調査の分析から手立を考え、実践することができた。
- ・中・低位層の児童を中心に授業を組み立て、多くの児童が主体的に取り組むことができた。
- ・教員の指導力向上を図ることができた。

【課題】

- ・学力上位層の児童を主体的に学習に取り組ませる手立て
- ・国語科での持続可能な取組
- ・効果的なタブレット端末とノートの活用
- ・学習状況調査の分析による手立ての検証と新たな課題への方策

「教員の指導力向上を通じた学力向上に向けた取組」

【実践発表】

●D 教育委員会

●D 小学校

(1) 研究主題

未来を育て創る教員の育成
～子どもが活躍する授業を目指して～

(2) 発表内容（抜粋）

① 児童の学力を向上させるための3つの柱

○教材研究を楽しむ

- ・単元について、本時で扱う教材について、授業の流れ、おさえるポイントや発問の確認（教材研究力）
- ・質問紙調査の実施・埼玉県学力・学習状況調査の結果考察

○授業も楽しむ

- ・示範授業による算数の流れの確認
- ・授業者の授業分析と教材についての理解

○学びに向かわせる学級経営

- ・みんなで語ろうの会

② 2年目の取組

- ・計算力向上パワーアップタイム
- ・コバトン復習シートの活用
- ・県学調を子供と結果を分析

(3) 研究の成果と課題（抜粋）

【成果】

- ・学力を伸ばした児童の割合の増加
- ・思考力、判断力、表現力の向上
- ・学習意欲の向上

【課題】

- ・教員主導の授業展開
- ・児童の問題場面の的確な把握

【実践発表】

●E 教育委員会

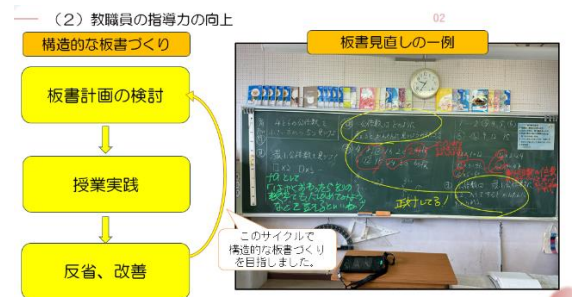
●E 小学校

(1) 研究主題

「Brush Up! 各教科の見方・考え方を働かせ、
児童が『できてうれしい』を実感できる授業づくり」
～無駄を省き、毎時間の授業の質を上げる指導方法の工夫～

(2) 発表内容（抜粋）

- ① 主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善の推進
 - ・算数板書スタンダード
 - ・日々の授業改善に向けた各学級担任への指導・助言
- ② 教員の指導力の向上
 - ・発問や構造的な板書等の研修
- ③ 学習状況の実態に応じた教科指導の充実
 - ・学調分析
- ④ 教職員の自己肯定感の向上
 - ・相互授業参観



(3) 研究の成果と課題（抜粋）

【成果】

- ・教員と児童の自己肯定感を高めることができた。
- ・児童の実態を把握し、学力が向上した。
- ・教員の指導力の向上が向上した。

【課題】

- ・児童の実態の引継ぎ
- ・教職員のやる気の維持
- ・研修や実践等の負担軽減

【実践発表】

●F 教育委員会

●F 小学校

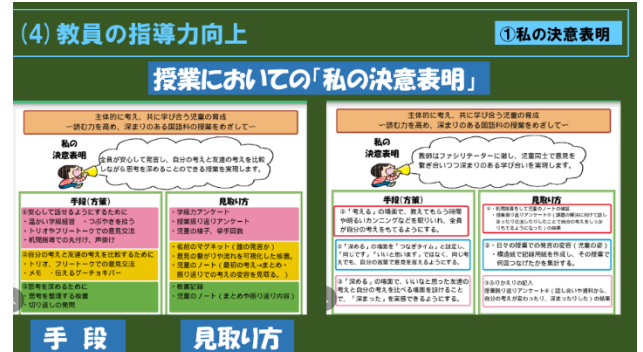
(1) 研究主題

主体的に考え、共に学び合う授業の実現に向けて

(2) 発表内容（抜粋）

- ① 子供主体の学級づくり
 - ・学級力の実態把握
 - ・認め合い支え合う人間関係作り

- ② 基礎学力の定着
 - ・埼玉県学力・学習状況調査結果の分析
 - ・帳票の活用
- ③ 授業力の向上
 - ・主体的・対話的で深い学びの実態調査
 - ・深まりのある国語科の研究
 - ・授業の記録、板書の蓄積
- ④ 教員の指導力向上
 - ・スキルアップ&お悩み共有会
 - ・研修だよりの発行
 - ・自由に授業を参観できる取組
 - ・「私の決意表明」



(3) 研究の成果と課題（抜粋）

【成果】

- ・学級力の向上
- ・基礎学力の定着
- ・教員の授業力の向上

【課題】

- ・学級力の数値の向上
- ・教職員の効果的な取組の共有
- ・今年度の効果ある取組の継承

【実践発表】

●G 教育委員会 ●G 中学校

(1) 研究主題

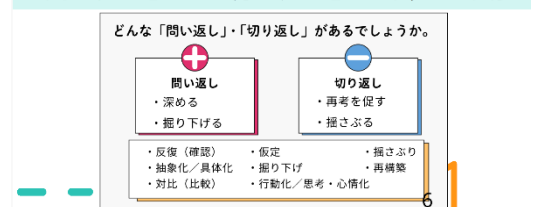
「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業改善の推進

(2) 発表内容（抜粋）

- ① 「問い返し」・「切り返し」の研究・研修
 - ・対比、再構築などの「問い返し」・「切り返し」
- ② 相互授業参観
 - ・学年、経験、男女、教科を考慮した班編制
 - ・「参観シート」の活用
- ③ その他
 - ・「帳票40」を活用した研修
 - ・質問紙調査の結果からの研修
 - ・ユニバーサルデザイン研修

研究の実践1

「問い返し」・「切り返し」の研究・研修



(3) 研究の成果と課題（抜粋）

【成果】

- ・生徒の教師への信頼が向上
- ・国語科の学力の伸長

【課題】

- ・努力調整方略の向上
- ・県学調の学力レベルの伸長

【実践発表】

●H 教育委員会

●H 中学校

(1) 研究主題

教員の指導力向上を通じた学力向上に向けた取組

(2) 発表内容（抜粋）

④ 実践力を高める取組

- ・英語科教員とのチームティーチング
- ・英語科教員の示範授業
- ・他教科の授業から学ぶ
- ・他校の英語の授業から学ぶ

⑤ 省察力を高める取組

- ・授業を録画し、自己分析
- ・リフレクションシートの活用

⑥ 協働力を高める取組

- ・教科会での教材共同作成
- ・他教科との連携

⑦ 専門知識を高める取組

- ・ICT 機器、AI 活用の研修
- ・優れた授業の動画視聴
- ・自身の英語力向上

(3) 研究の成果と課題（抜粋）

【成果】

- ・県学調の伸び率の向上
- ・生徒の学ぶ意欲の向上
- ・「主体的・対話的で深い学びの視点」による質問調査における良好な結果

【課題】

- ・さらなる学力向上

「令和7年度東部地区学力向上総合プロジェクトの紹介」

●東部教育事務所 学力向上推進担当

・未来へつながる学びを支援する訪問

①未来へつながる学びを支援する訪問

- ★各市町の課題に応じた教科で実施
- ★小学校1回、中学校（指導案検討+授業研究会）2回

《参加者の感想から観られる教師の学びの視点》

- ・国の動向
- ・各市町の実態や課題の把握
- ・主体的・対話的で深い学びの授業改善の理解
- ・個別最適な学びと協働的な学びの理解
- ・教科の特性や小中の系統性
- ・教師の支援、発問、見取りなどの指導技術
- ・新たな発想や授業構想
- ・ねらいに迫るためのICTの活用

教師も「主体的・対話的で深い学び」を！
ぜひ、積極的に御参加ください。

東部教育事務所HPCに
報告書を掲載しています。



・授業エキスパートを目指す授業研究会

②授業エキスパートを目指す授業研究会について

★令和7年度実施教科

小学校【国語】	実施済み
【外国語】	2月18日（水）
【生活】	実施済み
中学校【社会】	1月30日（金）
【技術】	1月28日（水）
【道徳】	実施済み



「学力向上に係る効果的な取組事例」

●吉川市教育委員会

令和7年度 学力向上に係る効果的な取組事例

「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」

吉川市教育委員会

3つの資質能力を育む 子供が主役の授業改善

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に回り、主体的・対話的で深い学びの実現を目指して、「子供が主役の授業改善」に取り組んでいます。

事例1 児童の「主体性」を引き出す取組

- 教科名：小学校「算数」
- 単元名：第4学年「計算のきまり」
- 本時の目標：ドットの数求め方を、図や式に表したり、図や式を使って自分の考えを説明したりすることができる（思考力、判断力、表現力等）
- 取組の工夫：導入で児童に困り感を味わわせることで児童自身が必要感をもち、本時の課題を設定したことで児童の意欲が高まった。児童に選択させる場面を多く設けることで主体的に自力解決する姿が見られた。



「指導講評及び情報提供」

●県教育局市町村支援部 義務教育指導課

学力向上推進・学力調査担当 高橋 史行 主任指導主事

- 1 実践発表市・学校の発表について
- 2 情報提供
 - ・埼玉県学力・学習状況調査の結果
 - ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けて

令和7年度 東部地区学力向上推進協議会

「児童生徒一人一人の 確かな学力の育成について」



令和8年1月23日（金）
県教育局市町村支援部義務教育指導課
学力向上推進・学力調査担当

未来を創る、こどもたち。
未来を育てる、わたしたち。
～未来への責任～